

模擬国連参加者 各位

模擬国連会議 参加に際してのお願い

2025年5月30日

大妻中学高等学校

模擬国連顧問

関 孝平

今年度も皆様のお力添えをいただき、本校にて模擬国連会議を開催できますことを、大変うれしく思い、心より感謝申し上げます。

さて、このたびの会議開催にあたり、皆様にメッセージを共有させていただきます。

率直に申し上げますと、昨今の模擬国連の会議において、本来大切にしてきた模擬国連の理念や教育的意義が少しずつ薄れてきているのではないかと懸念しております。他校の生徒もいる中で、少し背伸びをしたくなったり、開放的な気持ちになったりするのは自然なこととも思います。皆さんにとって模擬国連が自らの殻を破り、学校の枠を超えてともに活動し、交流を深める場であってほしいと願っております。

ただ、最近では、大使としてふさわしいとは言い難い服装や言葉遣い、振る舞いを目にする場面も増えており、「模擬国連を通して世界の課題を学び、中高生が平和を希求する」という根幹の理念が、十分に意識されていないのではないかと感じることがあります。また、本来の会議参加や見学の趣旨をなおざりにして、学校間交流会のような様相を呈している場面も看過できません。

誤解を恐れずに申し上げれば、模擬国連という「一見すると崇高に思える活動」に取り組んでいることを、ある種の免罪符のようにして、挨拶、身だしなみ、言葉遣い、マナーとルールの順守といった、中高生として模擬国連以前に求められる基本的な態度がおろそかになっている風潮を、わずかながら感じる場面もございます。例えば、全国大会ではしないような身だしなみで各校主催の会議に参加する生徒の姿も散見され、残念に思うこともあります。他にも、ガムを噛みながら交渉に臨む、机の上や床に座っている、会議を放棄し他校の生徒と交流をしている、スマホをいじってばかりで会議に参加していない、外交の相手に向けるものとは思えない言葉、態度が見られる、などの例が挙げられます。経験者、上級生にもそのような雰囲気が見受けられ、全体の雰囲気が損なわれていることも憂慮しています。ぜひ上級生こそ、会議をリードする姿とともに、模擬国連の理念を体現する存在であっていただきたいと願っております。

つきましては、模擬国連が「学びを深める場」「世界平和を考える場」であるという原点に立ち返り、生徒一人ひとりが、大使として、そして「学びにきた中高生」としての自覚と品位をもって参加することの大切さを改めて理解し、本会議に臨んでいただきますようお願い申し上げます。

また、併せてお願いがあります。私は他校主催の会議について申し上げる立場にはありませんが、少なくとも私どもが主催している6月と12月の会議に関しては、「練習会」という呼称・

通称の使用を控えていただきますようお願いいたします。

本校では、「世界の学びが生徒を変える、生徒の学びが世界を変える」という理念のもと、生徒と教員が共に学び合い、「より良い未来の実現」に取り組む活動として模擬国連を位置づけております。その学びの場を多くの学校と共有させていただいていることを、私たちは誇りに思っております。

私は、一貫して申し上げておりますが、全国大会であれ、学校主催の会議であれ、あるいは授業の一環として行われる模擬国連であれ、すべてに等しく学びの価値があると信じております。その思いより、私どもは本校の会議をこれまで練習会と位置付けたことも、呼んだこともございません。模擬国連に「本番」や「練習」という線引きはありません。初心者であっても経験者であっても、どこで、どのような形で行われた会議であっても、そこには豊かな学びがあります。「練習会」という言葉の背後に、「公式大会が本番で、それ以外は練習に過ぎない」という価値観がもしあるのなら、それはとても残念なことです。

もちろん、全国大会に向けた選考の一環として本校会議をご活用いただくことや、皆さんの成長の場として位置付けていただくことに異論はございません。ただ、「選考会」や「練習会」、「全国大会」といった言葉や枠組みの中で、模擬国連の本来の理念や教育的意義が歪んだり、求めるべき中高生としての姿、大使像がかすんでしまうことのないようにと願っております。

模擬国連は、特定の大会や成果を目指すためだけのものではなく、学びの本質に根ざした教育活動として、経験やスキルを問わず、全ての生徒にとって成長につながるものであると、私は信じております。そのためにも、模擬国連を心から楽しみながら、同時に学びの場として真摯に、そして謙虚に向き合えるような環境を、私たち教員と生徒の皆さんが力を合わせてつくっていったらと願っております。

模擬国連という学びの場を、より豊かで意味のあるものにするために、皆さん一人ひとりの協力を心からお願い申し上げます。